

平成30年度予算

一般会計

937億6,800万円

特別会計

445億9,721万円

一般会計予算 10,000 円のゆくえ

防災対策、地域振興、戸籍、住民基本台帳、選挙など総務費 **1,824 円**

福祉の充実のために **4,991 円**

健康を守るために **411 円**

きれいなまち、良好な環境を推進するために **479 円**

中小企業対策など商工業の振興に **85 円**

住宅、道路、公園の整備等まちづくりの推進に **841 円**

教育の充実、文化、スポーツの振興に **1,026 円**

区議会の運営経費に **115 円**

特別区債の償還に **202 円**

財政調整基金積立金 **5 円**

予備費 **21 円**

合計 **10,000 円**



かがやく渋谷

自由民主党議員団区政報告特集 第84号

平成三十年度当初予算が可決成立しました

自民党が、皆様の要望を実現!!

最大会派として当初予算に賛成

平成30年度一般会計の当初予算額は、総額937億6千800万円を計上、区民福祉の増進を図る新規事業予算など、前年度当初予算額を11億1千6百万円上回る、過去最大の予算案となりました。

喫緊の課題である待機児童対策では、認可保育園7園、認定子ども園1園を開設し、722人の定員増を図るとともに、若手保育士支援の巡回アドバイザーや研修経費補助等、保育の質の確保にも努めています。また要支援家庭シヨートステイ事業の新規実施等、子育て支援も拡充します。

教育では、ICT教育の推進継続はもちろん、学校と地域社会が円滑に協働するためにコミュニティスクールの充実

に取組みます。

福祉では『つばめの里・本町東』の完成に加え、今後さらに施設整備を推進すると共に、シニア見守り事業の拡充や生涯現役サポート、障害者就労支援等新規事業も充実させます。

本年10月には新庁舎が完成し、来年1月に開庁予定です。区民の皆様が使い勝手の良い窓口とし、災害時には拠点施設となるよう新庁舎の整備も充実させます。

他方、多くの事業を推進するため大型予算の編成となりましたが、財源に対しても常に厳しい目を持って持続可能な行財政運営となるよう、自民党は最大会派としてその責務を果たして参ります。

平成三十年度新規施策

待機児解消を早期に実現するため、保育施設の整備を進め、七百人を超える定員拡大を図ります。

平成三十一年一月の新庁舎開庁に向けてICT化の推進やワンストップサービスの充実等、区民サービスの向上を実現します。

渋谷区版ネウボラを開始するにあたって産後ケア事業の充実及び平日の夜間小児初期救急診療を開始します。

※ネウボラ：フィンランドで始められた、子育てを長期に総合的に支援する制度。

障害のある人や家族の支援を更に充実させるため、相談体制をより専門的・体系的に拡充した「基幹相談支援センター」を開設します。

五輪・パラリンピックに向けて、区独自のボランティアの発掘・登録を行い、大会を成功させるよう環境整備に努めます。

災害対策本部（防災センター）の新庁舎整備にあわせ、区と区民・来街者及び関係機関が双方方向でつながる「新防災システム」を導入します。

こどもの安全を確保するために、二年間で新たに学校の通学路を中心に百台の防犯カメラを設置します。

本年五月開設予定の「つばめの里・本町東」に加え、高齢者支援センターの建替えにも着手し、高齢者福祉の充実にも努めます。

